

日本維新の会
衆議院議員
中丸 啓 先生

平成 26 年 3 月 19 日 衆議院内閣委員会質疑
カトリックに関する御発言についての質問状

平成 26 年 3 月 27 日
カトリック信徒
河野定男(夙川教会)
土井修也(金剛教会)
野村勝美(山手教会)
原田重光(草加教会)
百井友子(兵庫教会)
山内智恵子(鷺沼教会)

中丸先生

日頃の国政に対する真摯な取り組みに感謝致します。
突然、このような質問状を送ることを、お許し下さい。

私たちはカトリック信徒でありまして、一部のカトリック聖職者の極端な政治的言動に疑問と危惧を持つ者です。直接、諫言もして参りました。その意味で司教・聖職者の政治的言動を、常に注視しています。しかしながら今回、先生が内閣委員会において発言なさった、

『反政府デモ活動への積極的参加することは信者の義務であると宗教指導、中核派や革マル派が主催する活動でも反政府デモへの積極的参加することは信者の義務であると呼びかけ、信者として反政府意識を持つように呼びかけ、反政府活動は信者の義務だと宗教指導。宗教の言葉を引用し、日本型社会構造及び文化意識への批判を行い、反対運動というのは信者の義務であると扇動、憲法改正は戦争を起こす行為であると議論そのものを否定し、また改憲反対活動を信者に義務として奨励し遂行、いわゆる従軍慰安婦なるものの存在を政府に認めるように求める活動は信者の義務として奨励遂行と、ま、このようなことを全国のカトリック教会組織を用いて行っているようなんですけど、』(youtube より文字起こしました)

という内容については、疑問を持ちます。私たちは今まで、「義務として」呼びかけられ

たことが、ありません。

勿論、信徒の中には、「義務として」呼びかけられなくても、「義務」と受け留める者もいるでしょう。少なからず居ると思います。しかしそれは受ける側個人の感性の問題であって、私たちは司教・聖職者の政治的言動に、従う「義務」など全く感じていない訳です。端的に言えば、歯牙にもかけていません。

先生が国会で語られた、「義務としての呼びかけ」が事実でありますならば、由々しきことであり、私たち信徒としても、今までとはレベルの違う、対応をしなければなりません。

つきましては、先生の国会発言の「裏付資料」「証拠物件」を、ご提示頂けないでしょうか。先生のおっしゃったことの根拠資料を私たちが所持していれば、私たちは今までにも、もっと強い対応をして来たのです。

以上、よろしくお願い申し上げます。

本文は私たちのサイトにアップする可能性がございます。その時はご案内致します。その場合、先生のご返事も併せてアップ致しますことを、お認め下さいませ。

ますますのご活躍を、お祈り致しております。

敬具